

成功への道筋が見えてくる！
かがわの産業界の今をお届けする

かがわ 産業情報 21

Kagawa Industry Information 21

1
— 2024 —
vol.91

理事長新年の御挨拶



TOP NEWS

企業経営者と知事との 意見交換会を開催



特集1

食品商談会を開催

特集2

第15回 国際二次電池展に出展

特集3

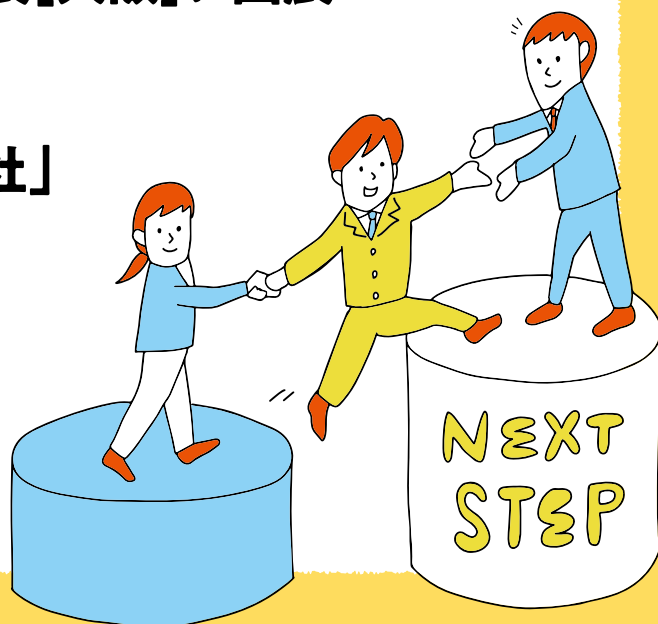
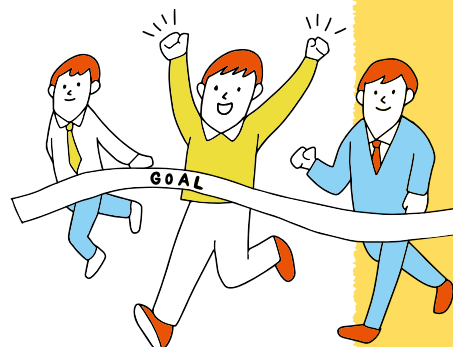
第26回 機械要素技術展[大阪]に出展



かがわ登!元氣創出企業

「四国アセチレン工業 株式会社」

四国で唯一アセチレンガスの製造を担うガス総合メーカー
時代の流れを見極め、幅広く誰もが活躍できる場を目指して



公益財団法人

かがわ産業支援財団

KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



新年の御挨拶



公益財団法人
かがわ産業支援財団

理事長 近藤 清志

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当財団の事業の推進に格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴い、経済が自律的に循環する環境が整いましたが、その一方でウクライナ情勢の長期化やイスラエルとパレスチナ武装勢力との衝突などの世界的な政情不安が、我が国経済に影響を及ぼすことが懸念されています。

このような厳しい状況を踏まえ、当財団では、去る10月30日に原材料価格の高騰や深刻な人手不足などの経営上の課題を持つ「ものづくり」、「食品関連」、「サービス・商業・建設」、「スタートアップ」、「IT関連」、「農商工連携」という幅広い分野から、10名の経営者の方々にご参加いただき、「企業経営者と池田知事との意見交換会」を開催しました。参加企業の皆様からは、現在抱えている悩みや、課題へ打ち勝つための工夫や意見などが紹介され、知事からはそれぞれにお考えをお話いただきました。いただいた御意見は今後の財団運営に活かしてまいります。なお、本会の様子は本誌で紹介していますのでご高覧いただければ幸いです。

さて、今年は辰年です。辰年は、時代を動かす変革の年とも、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年とも言われています。当財団では、将来的に県経済を牽引していくようなスタートアップの創出を目指すとともに、県内事業者の皆様が厳しい経済環境を克服し、大きく成長される年となるよう、香川県をはじめ大学・高専、試験研究機関、金融機関、支援機関の皆様と連携協力しながら、創業や新分野への進出、商品開発、事業化、販路開拓、経営基盤強化など多様なニーズに対応した総合的な支援に努めてまいります。

まず、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」では、研究開発、新分野進出等の取組みに対して助成してまいります。現在、令和6年度の実施企業を募集していますので、積極的にご活用いただきたいと思います。

スタートアップへの支援では、創業に関する様々な課題に対応するため、経営相談窓口において、創業前から起業家の成長段階に応じ、専門家による相談対応を実施するとともに、「かがわ創業塾」を開講し、専門家による実践的な講義を実施することにより、具体的なビジネスプランが策定できるよう支援いたします。加えて、創業時の負担を軽減するため、事業資金の補助や活動拠点の賃料を優遇するなどの支援も行います。

販路開拓では、展示会への出展経費を支援するとともに、昨年10月に、高松市内で県内セラー56社と県内外のバイヤー42社が参加した食品商談会で多くの商談が成立しました。今後もバイヤーとの商談を継続することで、新たな販路開拓につながる事が期待されます。そして、本年2月には、幕張メッセで開催される国内最大級の食品関連見本市「スーパーマーケット・トレードショー2024」に香川県ブースを出展し、本県の食品産業をPRいたします。

また、財団内に開設している「よろず支援拠点」、「プロフェッショナル人材戦略拠点」、「知財総合支援窓口」では、企業が抱える様々な悩みや課題の解決に向けた相談対応を行い、経営改善や競争力強化、人材確保、知財の活用などをサポートしてまいります。

さらには、財団が運営する施設などを活用し、企業との共同研究や受託研究、機能性表示食品の開発支援を行うとともに、新規産業創出や産学官共同研究を支援してまいります。

本年も引き続き、本県産業の振興発展のため、職員一丸となって各種事業に取り組んでまいりますので、皆様方のなお一層の御理解と御協力をお願い申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

企業経営者と知事との意見交換会を開催

今回で20回目となる企業経営者と知事との意見交換会を10月30日、高松市内のホテルで開催しました。

今回は、県内の幅広い分野(「ものづくり」、「食品関連」、「サービス・商業・建設」、「スタートアップ(ベンチャー)」、「IT関連」、「農商工連携」)でご活躍されている企業経営者10名の方々にお集まりいただき、原材料価格の高騰や深刻な人手不足などの経営環境の中での取組や今後の計画・展望などを交えながら活発な意見交換が行われました。

令和5年度 企業経営者と知事との意見交換会



CONTENTS

2024年1月 vol.91 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21 ①

理事長新年の御挨拶 1

TOP NEWS

企業経営者と知事との意見交換会を開催 2・3・4

特集1

食品商談会を開催 5

特集2

第15回 国際二次電池展に出展 6

特集3

第26回 機械要素技術展[大阪]に出展 6

支援事例紹介

香川県よろず支援拠点での支援事例 7

下請かけこみ寺事業の紹介 7

香川県知財総合支援窓口事業 支援事例の紹介 8

財団の活動

知財マッチング in かがわ2023を開催 8

かがわ知財経営塾を開催 8

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

令和5年度後期 支援対象事業の決定 9

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

Made in かがわ 新商品展示販売会2023を開催 9

令和5年度 商品化技術テーマ

調査事業 支援対象事業の決定 10

かがわ機能性食品等開発研究会

第11回シンポジウムを開催 10

かがわ冷凍食品研究フォーラム

第11回シンポジウムを開催 10

微細構造デバイス研究開発フォーラム

令和5年度セミナーを開催 11

かがわ糖質バイオフォーラム

第15回シンポジウムを開催 11

第79回 香川の発明くふう展

表彰式及び受賞作品展示会を開催 11

財団からのおしらせ

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

令和6年度助成事業の募集 12

かがわ発!元気創出企業

四国で唯一アセチレンガスの製造を担うガス総合メーカー
時代の流れを見極め、幅広く誰もが活躍できる場を目指して

四国アセチレン工業 株式会社 13

企業経営者と知事との意見交換会を開催

川崎化工 株式会社

代表取締役社長 川崎 功雄

事業概要 ウェットティッシュ、化粧品等のプラスチック容器製造



知事

貴社の強みである油圧技術は、今後も安定したマーケットが期待できる分野である。現在、県外企業の誘致と合わせて、県内企業の事業の拡大についても同様の助成を考えているので、更なる事業拡大に取り組んでいただきたいし、その際には県でも最大限のサポートをしていきたい。

脱プラや環境問題への対応としてSDGs宣言を発表し、自然由来のバイオマス原料での生産体制を構築するとともに、県内の食品加工業者と連携して食品廃棄物の再利用によるバイオマス原料の試作を行っている。また、働き方改革の取組みと自動機械の導入による省人化で人手不足に対応している。今後は、県産業技術センターなどの指導・支援を受けながら、バイオマス原料の取組みをより効果的に進め、持続可能な社会の実現を目指す。

知事

貴社のウェットティッシュ関連容器は全国トップシェアを誇り、本県のものづくりの力を示している。また、バイオマスもそうであるが、プラスチック代替材の開発は海洋プラスチックごみ問題の解決につながる重要なテーマであり、貴社と県の産業技術センターで協力して取り組んでいただきたい。

株式会社 サンテック

代表取締役社長 青木 大海

事業概要 各種プラント設備機器の設計・製作



知事

本県のプラント製造業は、技術伝承や人手不足などの課題を抱えている。一方、海外では中間所得層の拡大や円安の影響で、我が国の製品や技術への需要が高まっている。

県は海外企業と県内企業とのマッチングの機会の提供や優秀な海外人材の面接会の開催、外国人労働者との協働を推進すべきである。また、外国人留学生を支援する立場から、日本人が海外の人材を尊重する意識を高める教育も必要であると感じている。

知事

青木社長の話は、特にASEAN諸国と我が国の経済が20年前、30年前とは反対の状況になっていることを改めて認識させてくれた。そういったことは頭でわかっているけどマインドチェンジができない部分が行政にもあるかもしれない。これまで県は国内企業の本県への立地や県内企業の海外展開を支援してきたが、今後はASEAN企業との事業連携といった視点も必要と考える。

ユニコム 株式会社

代表取締役社長 藤原 康雄

事業概要 油圧ユニットの設計製作、油圧機器販売、マニホールドブロック設計製作、油圧装置のメンテナンス



知事

当社は創業43年目を迎え、製紙・製鉄・造船など、我が国の産業の基盤を支える油圧技術を用いた製品を供給している。近年、持続可能な社会への貢献やカーボンニュートラルへの対応に向けた動きの中で、油圧システムの電動化や省力化が進んでおり、当社もこうした時代の変化に対応するため、新たな製品の開発や人材育成に取り組んでいる。

新規の設備投資や工場新設に対するサポートをいただきながら、香川から世界の産業を支える油圧ユニットメーカーに成長したいと考えている。

東洋オリーブ 株式会社

代表取締役社長 南 安子

事業概要 オリーブの栽培・製造・販売まで一貫体制で取組み



本県のオリーブ産業は、国産果実の不作や、輸入販売をしている海外産オリーブオイルの価格高騰、為替のユーロ高、景気回復の遅れによる消費者の買い控えなどの外的要因で苦境に立たされている。この状況を打開するために、小豆島産オリーブの完全循環型農法による有機栽培に取り組んでいるが、廉価なオリーブオイルとの品質の違いが消費者に理解されていない。県においては、高品質なオリーブオイルについての知識や情報を消費者に浸透させるプロモーションの実施をお願いしたい。

知事

小豆島に代表されるオリーブ産業は本県にとって大切な産業であり、プロモーションの強化などにより、その価値を全国の多くの方に知ってもらう必要がある。また、オリーブは新漬けやオイルだけでなく、オリーブ牛やオリーブハマチなど、さまざまな商品に活用されている。オリーブ産業に関わる企業が継続して事業を行えることが、本県の将来にとって重要である。

安田食品工業 株式会社

代表取締役社長 秋長 健一

事業概要 小豆島において佃煮・惣菜を製造販売(全国)



昆布や落などの原料に加えて、調味料や光熱費、運賃も高騰しており、製造原価の高騰による利益圧迫が深刻化している。また、小豆島という立地から輸送費が高くなってしまうことも競争力の低下につながっている。このため、商品等の輸送費に対する補助をいただければ幸いである。

大手メーカーとの差別化を図るために希少糖を使った商品の開発を行っているが、当社の主力市場の東北地方における希少糖の認知度は低い。県には希少糖について継続したPRをお願いしたい。

知事

本県にとって島嶼部は特別な地域であり、産業も多様である。今後も産業を根付かせたまま発展させるためには、運賃問題を再考する必要がある。

希少糖は、そのユニークさと素晴らしさについては、先般全国放送でも取り上げられ、機能性表示食品への利用や医薬品への展開への研究も進み、今後も話題性は大きくなると考えられる。県でも引き続き認知度向上のための取組みを行う。

富士建設 株式会社

代表取締役 眞鍋 有紀子

事業概要 総合建設業



当社は、良い建築を通じて、地域や企業の課題解決を支援し、社員や職人が安心して誇りを持って働ける建設業界を実現することを目指している。近年は既存不適格建物の適法化支援に力を入れているが、今後は企業の経営計画と設備投資を長期的にリンクさせる、ファシリティマネジメント的な視点を取り入れた事業を行いたい。

県には、法人建物への県産木材の使用を促進するための補助金の拡充や、ハザードマップで危険区域にある企業が移転するための土地取得費用の補助など、何らかの支援策があればありがたい。

知事

県では県産ヒノキの需要拡大に取り組んでいるが、民間住宅への補助制度以外についても県産木材の利用促進策を考えていきたい。建物の長期的な維持管理に関する計画の提案といったコンサルティング業務については、建設業界にもビジネスの紹介をしていきたい。

株式会社 サニーサイド

代表取締役 多田 周平

事業概要 清掃業、食品製造業、就労支援事業、その他



当社の従業員のうち約46%が高齢者や元ニート、障害者などであるが、こうした人材が働く意欲と能力を持っていることを実感しており、彼らの活躍の場を作るため、企業とこうした人材をつなぐ機会を増やしたい。

本県では多くの高校生が県外に進学する一方で、地元に残る子どもたちの中には、障害等のために就職が難しかったりする子が少なくない。県には、こうした子どもたちを支援する地域若者サポートステーションのような中間支援を拡充し、支援の仕組み自体を広く県民に周知してほしい。

知事

潜在的な労働力である高齢者や障害者の雇用拡大に取り組んでいかなければならない。高齢者や障害者に対する既存概念を変え、雇用する側と働く側の双方が連携して、就職の機会を創出していく必要がある。例えば、高齢者や障害者に対象を限定した就職あっせん会や、障害者団体との連携の強化、既存の就労支援制度の活用などの仕組みにより、人手不足の解消と、誰もが生き甲斐を持って働ける社会の実現を目指したい。

株式会社 コヤマ・システム

代表取締役社長 佐野 弘実

事業概要 製造業向けソフトウェア開発、自社製品開発



理系人材の確保が難しいため、文系人材やパートの主婦の採用も行っている。また、就業規則や雇用契約の見直しなど、多様な働き方に対応できる体制づくりにより、人材の定着に取り組んでいる。

IT業界では、創業30年～35年を迎える企業で廃業や譲渡を検討する経営者が増えている。そういった企業の事業承継も今後重要になると考える。

デジタル化の各段階における支援や、クラウドの活用促進のための補助制度の拡充があれば、中小企業のデジタル化の一層の促進につながるのではないかと。

知事

企業は女性の採用を積極的に進めているが、年齢制限を設けているところもある。しかし、30～40年前と比べて働き方の価値観は大きく変化し、高齢者でも生きがいを持って働きたいと考える人は増加している。また、子育てを終えた女性が自分の能力やキャリアを生かした仕事を求めるニーズも拡大している。

こうした状況を踏まえ、県も高齢者や女性の就労支援を強化し、企業と求職者をつなぐための取組みを進めていく必要がある。

大豊産業 株式会社

専務取締役 神野 孝博

事業概要 省力化・インフラ機器の製造・販売・保守



高校生向け「ロボットアイデア甲子園」を、世代を問わずロボットに触れる機会提供の場に拡大し、県や市町と一緒に取り組みたい。

EV車シェアリングエネマネ事業を展開しており、EVの導入や補助金等による県の支援をお願いしたい。

タイの高度人材やインバウンドの受入、現地でのビジネスマッチングなどに県のフォローをいただければありがたい。

スカイドライブ社の空飛ぶクルマを購入予約しており、2025年の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025の活性化に尽力していきたい。

知事

ロボットアイデア甲子園への協力として何ができるか検討したい。また、EVの普及については、充電器の整備など国の政策を見ながら県として対応していきたい。高松空港国際線の次の直行便については、タイやベトナムを念頭に置きながら現地の航空会社と協議しているところであり、空飛ぶクルマについては、島嶼部のある本県は安全面からも国内で先行して実用化できるエリアではないかと考えており、ご協力いただきたい。

株式会社 キョーワ

代表取締役 加地 正人

事業概要 冷凍食品製造業



水産業を取り巻く環境は近年の水揚げの減少や燃料費の高騰などにより厳しさを増しているが、かがわ産業支援財団と共同研究を重ね、県内の水産業者やメーカー、流通業者と連携し、マイクロ波を活用した電子レンジで焼き上げる冷凍漬魚の共同開発部会を立ち上げた。県内業者で完結できるローカルサプライチェーンの構築と、県内水産物の適切な価格での販売促進を目指しており、瀬戸内文化の発信や、水産業と観光業の協業にもつながってほしいので、県には、この取組みに寄り添った支援をお願いしたい。

知事

水産業は本県の文化であり、守り育てていく必要がある。瀬戸内海の漁獲量が減少している原因の特定は難しい部分もあるが、豊かな海を取り戻すためのプログラムを策定し政策を展開したい。併せて、水産物の販売促進に引き続き注力する。



香川県の基幹産業の一つである食品産業の販路開拓支援を目的に、当財団、香川県、(株)百十四銀行、(株)香川銀行、高松信用金庫、観音寺信用金庫（計6機関が主催）、(株)日本政策金融公庫高松支店、(株)商工組合中央金庫高松支店、農林中央金庫高松支店、香川県信用農業協同組合連合会、高松商工会議所、高松市中央商工会、三豊市商工会、香川県中小企業団体中央会、香川県信用保証協会、香川県よろず支援拠点（計10機関が共催）の16機関が連携し、県内外のバイヤー等を招聘して、食品商談会を開催しました。



▲開会あいさつ 池田香川県知事

開催概要

開催日時 令和5年10月17日(火)10:00～17:00
開催場所 JRホテルクレメント高松 飛天の間

参加セラー 56社（県内食品加工業者等）
招聘バイヤー 42社

開会に当たり、主催者及び共催者を代表して池田知事に激励のあいさつをいただいた後、バイヤーとセラーが精力的に商談に臨みました。バイヤーゾーンにおいては、バイヤーとセラーが時間割制(20分間)の『個別商談』を、セラーゾーンにおいては、セラー各社が商品をブースに展示しバイヤーが巡回する『見本市』を同時に開催する形式により、効果的な商談を実施しました。

この日の成果としては、商談件数が延べ406件、商談成立が46件、商談成約見込みが77件、商談継続が257件となりました。



▲『見本市』コーナーの様子



▲よろず支援拠点



▲知財総合支援窓口

また、会場には当財団の「香川県よろず支援拠点」や「香川県知財総合支援窓口」などの専門家による相談コーナーを設置し、商品開発やマーケティングのほか、商標などの知的財産に関する諸課題の相談対応を実施しました。

特集 2

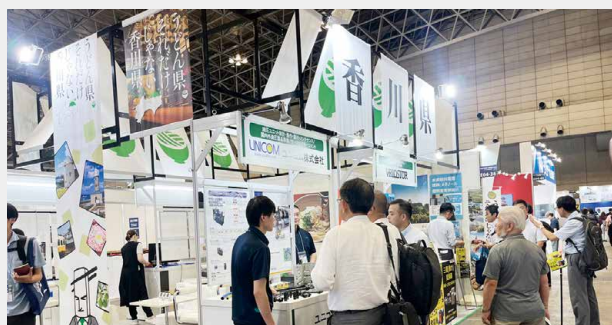
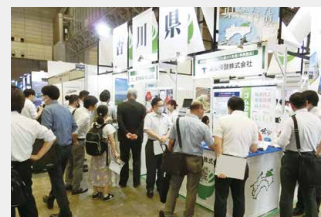
第15回 国際二次電池展に出展

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術産業のエネルギー関連分野等への進出を支援する取組みとして、関連企業が
多く集まる展示商談会である「第15回国際二次電池展」に香川県ブースを出展しました。

会 期	令和5年9月13日(水)～15日(金)
会 場	幕張メッセ(千葉市美浜区)
来場者数	約3万8千人(同時開催展来場者を含む)
主 催	RX Japan(株)
展示会概要	二次電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、及びバッテリーマネジメントシステムが一堂に出展する国際商談展

出展者

出展企業	所在地	出展物等
高木綱業(株)	高松市	・複合化超高分子量ポリエチレンロープ ・高耐疲労高強度全天候型 絶縁ロープの製造・点検技術 等
高松帝酸(株)	高松市	・フッ素ガス表面処理技術 ・各種ゴム非粘着処理技術 等
バリオスター(株)	高松市	・オフグリッド蓄電システム ・メタノール燃料電池システム ・水素燃料電池システム 等
ユニコム(株)	多度津町	・F37フレア配管システム ・油圧マニホールドブロック 等



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

特集 3

第26回 機械要素技術展[大阪]に出展

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術産業の振興を図り、成長分野等(エネルギー・
環境関連、ロボット関連、自動車関連など)への進出を支援する取組みとして、西日本最大級の専門
技術展「第26回 機械要素技術展[大阪]」(インテックス大阪)に、香川県ブースを出展しました。

会 期	令和5年10月4日(水)～6日(金)
会 場	インテックス大阪(大阪市住之江区)
来場者数	約3万2千人(同時開催展来場者を含む)
主 催	RX Japan(株)
展示会概要	軸受、ベアリング、ねじなどの機械要素や金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた西日本最大級の専門技術展

出展者

事業名	所在地	出展物等
(株)エスシーイー	丸亀市	・マシンビジョンを搭載したロボットシステム
三有研器(株)	高松市	・スリッター上下刃 ・不織布切断用カッター刃 ・フィルム包装機用刃 等
(株)シーマイクロ	高松市	・体積算出、寸法測定3Dカメラを用いた 自社開発の検査装置ソリューション
高松帝酸(株)	高松市	・フッ素ガス表面処理品 ・フッ素ガス表面処理技術 等
バリオスター(株)	高松市	・トルク管理電動ドライバー ・リチウムイオン蓄電池モジュール 等
(株)プロテック	高松市	・高精度機械加工部品 (半導体製造装置関連、航空機関連) 等
明興産業(株)	丸亀市	・各種樹脂(主に熱硬化性樹脂)の機械加工品、 サンプル品 等



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

香川県よろず支援拠点での支援事例

相談者

センタッキー・ウォッシャー・カー

代表 戸田 吉治 氏
香川県高松市田村町201-1 TEL:087-868-2402

テーマ

出張型の洗車サブスクリプションサービスのプレスリリース支援

相談者コメント

ひとりで事業を行っているため、依頼が重複しお断りしなければならない時や、依頼が無い時もあった。また、セルフ洗車場のような安価な競合も増加し、売上高が伸び悩んでいたところ、よろず支援拠点を知り相談した。

プレスリリースをする際に、ターゲットやコンセプトを考えるのが最も重要で大変であった。これをひとりで考えていたら、到底実現できなかったが、二人三脚で支援していただいたおかげでなんとかプレスリリースを実施する事ができ、反応も得る事ができました。ありがとうございました。

課題の把握・設定

顧客を上位へシフトさせ、毎月一定の売上高を上げる事を考え、出張・引き取り型洗車をサブスクリプション方式で提供する事を検討した。このサービスにより、一定金額の売上が毎月約束されるため、ストック型のビジネスとなり経営が安定すると考えた。

課題解決に向けた支援内容

新たなサービスを認知させるための営業について支援を行った。
対象ターゲットの洗い出し、設定を行った。一定数に認知させるためプレスリリースを活用したプル営業を行い、対象ターゲットに訪問するというプッシュ営業を組み合わせた戦略をとる事とした。

支援のポイント、気を付けたこと

相談者の考えを整理しながら気づきを得られるように、対話を通じた支援を行い、新サービスと対象ターゲットを明確化していく事に努めた。スケジュールを決め、定期的に予定を行うことで、確実に実現させられる様に支援した。



成果・現況

高松商工会議所のプレスリリース支援を活用し、地元の新聞社にも取り上げられた。その記事がYahoo!ニュースにも展開され、告知効果を得ることができた。
その結果、新サービスに関するお問い合わせの連絡を受けるに至った。

お問い合わせ先

香川県よろず支援拠点
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710 E-mail.yorozu@kagawa-isf.jp

下請かけこみ寺事業の紹介

下請かけこみ寺は、下請取引の適正化を推進することを目的として国が、公益財団法人全国中小企業振興機関協会(本部)と全国47都道府県の中小企業振興機関に設置した相談機関です。中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが事業者間取引で抱える悩みについて、ご相談ください。

相談窓口

当財団では、企業振興部取引支援課内に『下請かけこみ寺』相談窓口を設置し、相談員が親身になって適切な助言を行なうほか、必要に応じて、弁護士無料相談やADR(裁判外紛争解決手続)等の紹介を行います。相談は電話等又は直接窓口で受け付けています。

相談日時

毎週月・火・木・金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(祝祭日・年末年始を除く)

相談連絡先

フリーダイヤル 0120-418-618

詳細のリンク先

<https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>

中小企業 個人事業主 フリーランス

の皆さん

取引上の悩み

抱えていませんか?

下請かけこみ寺

にご相談ください!

「下請かけこみ寺」では、中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが抱える取引上の悩み相談を受け付けます。相談員は、専門の相談員や弁護士がアドバイスを行います。

悩んだらここに相談を!

下請かけこみ寺

<https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>

TEL.0120-418-618

公益財団法人全国中小企業振興機関協会

無料相談(相談員・弁護士)

例えば...

- 1 支払日超過で現金が滞ってこない。
- 2 得意先からキャンセルされたので、商品が滞って付いたという商品が滞った。
- 3 得意先が倒産してしまい商品が滞った。

相談員が対応します。

オンライン相談

相談員が対応します。

ADR

裁判外紛争解決手続(ADR)

●紛争当事者間の調停の調停を行います。

●裁判と異なり非公開で行われるため、当事者間の関係が保たれます。

●当事者が同意すれば、自由に調停場所・時間を決められます。

消費税の転嫁等に係る取引上の相談に応じます。

消費税の転嫁等に関するご相談はこちら

0120-300-217

全道道府県に下請かけこみ寺を設置しています。

03-5541-8800	0778-827-7428
011-232-2408	077-511-1413
011-775-2234	076-511-8109
019-631-3822	06-6748-1144
022-252-2637	076-977-9109
018-860-5822	0742-38-8311
028-247-0502	0743-23-3412
024-225-4316	0857-52-6703
028-670-2903	0852-245-5114
043-299-2554	086-298-9670
048-647-4586	083-802-3722
03-3251-6390	088-654-0101
043-233-0300	087-868-9904
025-245-0505	089-865-1268
026-227-0313	089-845-6900
055-243-6237	092-255-6017
054-272-4433	092-244-4416
052-715-3069	095-625-8826
058-277-1582	096-289-2427
059-228-7283	097-524-5200
076-444-6522	098-74-3850
076-267-1219	099-219-1274
	099-859-6237

相談については、上記下請かけこみ寺に問い合わせてお電話で受け付けます。また、ホームページでも受け付けます。

下請かけこみ寺

<https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>

TEL.0120-418-618

公益財団法人全国中小企業振興機関協会

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

香川県知財総合支援窓口事業 支援事例の紹介

相談者 丸島醤油株式会社(小豆郡小豆島町)

企業紹介

「変化が激しい時代だからこそ、昔から変わらない美味しさを追求していきたい。」として、丸島醤油は1950年に醸造家8家が相寄り株式会社としてスタートいたしました。日々の生活に寄り添いながら日本の食卓に彩りを添えてきました。一時的なブームではなくこれからも「やっぱりこの味だね」と思っていた頂き、長きにわたって愛される良質なものを作り続けることをモットーとしています。

相談のきっかけ

同社の、お客様に醤油の香りを知ってほしい、醤油のおいしさを知ってほしい、醤油で笑顔を作りたいという気持ちが「醤油もろみの搾りたてを楽しむ」という商品に具体化し、木桶をモチーフにした磁器での器の製作に取り掛かれました。非常に難しい挑戦でしたが、職人さんの試行錯誤のおかげで商品化の目途がたち、使用するもろみの選定の後、知的財産の権利化の相談がINPIT香川県知財総合支援窓口にありました。遊び心満載の史上初の商品です。

支援概要

こだわりをクリアして木桶を模した磁器容器は、何種類ものパーツの型から構成されており、出来上がった商品の完成度の高さは素晴らしいものでありました。技術のアルゴリズム、外観の美しさ、商品のブランド化、これらを権利化するため、専門家である弁理士と連携しながら、特許出願・意匠出願・商標出願の支援を実施しました。

支援成果

2023年2月から販売を開始し、展示会等では大きな反応を得られました。また、食品展示会においても他社との違いを出すことができ、社名の宣伝効果もかなり大きく、同社の他の商品の売り上げもあがるのではと期待されています。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-802-3650 FAX.087-867-9365

財団の活動報告

知財マッチング in かがわ2023を開催

大手企業等が保有する開放特許等の活用を通じて、県内企業の新たな事業展開や新製品開発を促進するため、今年で7回目の「知財マッチング in かがわ2023」を開催しました。

web面談化によって、シーズ提供元を大手企業等18社と充実させ、従来からのweb参加以外に久しぶりに対面もあり、県内企業は自社もしくは、財団等から個別面談を開催しました。面談以外に情報提供も兼ねたマッチングの場を提供しました。11月16日を皮切りに、以降随時個別面談を行い、県内企業が参加します。

日時 令和5年11月16日(木) 10:00~16:00(期間外も随時実施)

場所 香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室 他

区分	参加大企業等	参加県内企業	面談件数
個別面談 (12/21まで)	8社	10社	14件



▲Web面談風景



▲対面面談風景

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

かがわ知財経営塾を開催

知的財産の活用を通じて、地域産業の活性化を図るため、香川県内の中小企業等の経営者などを対象に、「かがわ知財経営塾」を対面で3回開催しました。本塾は、日本弁理士会と香川県が締結した「知的財産の活用による地域の活性化と産業の振興のための協力に関する協定」に基づき、日本弁理士会の協力を得て開催しました。

ワークショップ形式でグループディスカッションを中心に行い、経営・知的財産の課題について話し合いを通じて理解も深めて学ぶ場を提供しました。受講者のアンケートでは、具体的事例を取り上げた内容で分かりやすかった等の声が寄せられました。

	開催日	実施形態	テーマ	講師	受講者
第1回	R5.9.14(木)	対面	製品開発における知財を活用した営業戦略、知財戦略の注意すべき盲点	松島国際特許事務所 弁理士 松島 理 氏	12名
第2回	R5.9.21(木)	対面	様々な業種における知財を活用した製品開発の成功例	弁理士法人 山内特許事務所 弁理士 山内 康伸 氏	18名
第3回	R5.10.5(木)	対面	利益向上に繋がるオープンイノベーションの活用	松島国際特許事務所 弁理士 松島 理 氏	16名



▲会場 対面開催風景

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和5年度後期 支援対象事業の決定

平成30年度から新かがわ中小企業応援ファンド等事業を開始し、県内の中小企業者の研究開発や販路開拓等に対する支援を行っています。令和5年度後期の助成事業について、令和5年6月16日から8月28日まで募集を行ったところ13件の申請があり、審査の結果、支援対象事業を次のとおり8件決定しました。

新分野等チャレンジ支援事業 採択8件(申請13件) 採択額7,463千円

(事業者名による五十音順)

No.	事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1	TV 電話技術をベースとしたオンライン診療に利用できる Web 連携機能の開発	アイディオ株式会社(高松市)	800
2	水圧式多目的段差解消機(水中リフト仕様)開発	株式会社ADSムラカミ(高松市)	1,000
3	「組込み AI 画像処理ユニット」の商品化	株式会社エスシーエー(丸亀市)	1,000
4	幼稚園向けの装飾パネル、パーソナルスペースの開発	株式会社グッドワーク(木田郡三木町)	719
5	にがりを使った香りを有する入浴剤の商品開発	仁尾興産株式会社(三豊市)	1,000
6	こんにゃく素材(マンナンミール)にオリーブ葉エキスを、希少糖を添加した機能性表示食品の開発	ハイスキー食品工業株式会社(木田郡三木町)	945
7	希少糖を含有させた冷凍弁当やレトルトカレーなどの新商品の開発	株式会社ボスコフードサービス(三豊市)	1,000
8	紙糸を使った紙袋用の組み紐タイプの丸紐(とって)の開発	松浦産業株式会社(善通寺市)	999

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

Made in かがわ 新商品展示販売会2023を開催

県内中小企業者が「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」を活用して開発した新商品・新技術を広くPRするため、「Made in かがわ 新商品展示販売会2023」を丸亀町グリーンで開催しました。令和3年度に引き続き2回目の開催となった今回は、出展事業者の素敵な景品が当たる抽選会を初めて実施し、多くの来訪者でにぎわいました。

日 時 令和5年11月3日(金・祝) 11時～17時

主 催 香川県、公益財団法人かがわ産業支援財団

場 所 丸亀町グリーン けやき広場

出展事業者 15社(販売ブース14社、展示ブース1社)



【出展事業者の声】

- 弊社ブースにお立ち寄りいただいたお客様から、商品について様々なアイデアをいただくことができました。
- 当社の主力商品ではなく新分野を含めた違う商品での販売を実施し、価格面でお客様がどう感じるかを聞き取れた。
- お客様の反応をその場で聞くことができ、また、知人も来てくださり感謝です。
- 今まで当社を知らなかった方に知っていただき、リアルな声を聞けたことがよかった。
- 各店舗でのお買い物毎に抽選券がもらえるのでお客様にとってはお得感があつた。抽選会を楽しみにしているお客様もいらっしゃった。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

令和5年度 商品化技術テーマ調査事業 支援対象事業の決定

県内の企業等が商品化のための技術テーマを大学・高専・公設試験研究機関等と連携して調査・開発しようとする場合に、その調査研究費等を助成します。

令和5年度の助成事業について、令和5年7月3日から8月31日まで募集し4件の申請があり、審査の結果、次の3件を採択しました。

令和5年度 採択事業

(事業者名による五十音順)

事業者名(所在地)	事業名	採択額(千円)
株式会社アムロン(高松市)	鋳物関連工場由来のガストに含まれる重金属類安定化およびブロック化に関する研究	766
大倉工業株式会社(丸亀市)	オリーブ成分抽出残渣の農業利用の可能性調査	1,000
株式会社桜製作所(高松市)	熟練職人の技術を置換するための木製椅子製造における図面のデジタル化およびNC工作機械活用による生産性向上への研究開発	960

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

かがわ機能性食品等開発研究会 第11回シンポジウムを開催

平成25年度に設置した「かがわ機能性食品等開発研究会」(会長:香川大学 名誉教授 田村啓敏 氏)第11回シンポジウムを9月7日(木)に香川産業頭脳化センターで開催しました。(参加者:43名)

参加者からは、講演では「カロテノイド類の代謝・吸収に関して、多くの情報を得ることができた」、事例発表では「生鮮食品の機能性表示登録の経緯を知ることができ、参考になった」等の意見がありました。

講演

演題 「農産物等に存在するカロテノイド類の機能性と代謝」

講師 国立大学法人香川大学 農学部 教授 米倉 リナ 氏



情報提供①

演題 「アクティブディRB(HMPA)及び丸善の機能性表示食品対応素材について」

発表者 丸善製薬株式会社
営業本部 食品営業部
大阪食品営業課 チーフ 湯宮 健 氏



事例発表①

演題 「加圧熱水抽出によるオリーブ剪定葉からのヒドロキシチロソール含有エキスの開発」

発表者 大倉工業株式会社 R&Dセンター 環境・エネルギー開発部 アグリテック開発課長 加藤 尚士 氏



情報提供②

演題 「加圧熱水反応・抽出によるオリーブ果実搾滓からの総ポリフェノール、ヒドロキシチロソール等の抽出」

発表者 公益財団法人かがわ産業支援財団
地域共同研究部 主席研究員 中西 勉 氏



事例発表②

演題 「機能性表示食品『あらん』(ルテイン含有生卵)の開発・販売戦略」

発表者 有限会社 高島産業 代表取締役社長 高嶋 浩司 氏



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

かがわ冷凍食品研究フォーラム 第11回シンポジウムを開催

平成25年度に設置した「かがわ冷凍食品研究フォーラム」(会長:香川短期大学 名誉教授 竹安 宏 氏)第11回シンポジウムを11月14日(火)にネクスト香川で開催しました。(参加者:48名)

参加者からは、講演では「冷凍食品業界のトレンドを知ることや解凍方法から逆算して開発することなど多くの学びがあった」、話題提供では「オリーブ葉がイワシの味覚・酸化に良い影響を与えるということが理解できた」、事例発表では「現場を知る商品開発視点でのマーケティング論で興味深い」、「グルテンフリーやフリーズドライフルーツの開発話は興味深く、やってみるといふ姿勢に感銘を受けた」等の意見がありました。



講演

演題 「冷凍食品におけるトレンドと商品開発手法について」

講師 ベフロティ株式会社
代表取締役 西川 剛史 氏



事例発表①

演題 「B to Bビジネスにおける商品開発について」

発表者 八幡食品株式会社
代表取締役 村山 壮徳 氏



話題提供

演題 「オリーブ葉処理がマイワシの冷凍保存に及ぼす効果の検討」

発表者 香川県産業技術センター
食品研究所 主任研究員 松岡 博美 氏



事例発表②

演題 「冷凍スイーツの美味しさの探求」

発表者 株式会社スミダ・リ・オリジン
代表取締役 住田 俊二 氏



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

微細構造デバイス研究開発フォーラム 令和5年度セミナーを開催

令和5年12月4日(月)、香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室にて微細構造デバイス研究開発フォーラム(平成17年設立 会長:香川大学名誉教授・客員教授 大平文和 氏)のセミナーを開催し、33名の会場参加者、22名のオンライン配信視聴者がありました。
「産学官連携による新展開」をテーマに3名の講師にご講演いただきました。

【開催概要】

講演①

- 演 題** 産学官連携事業を通じて得られるものは何か?～イノベーション、人材育成、人材確保～
講 師 経済産業省四国経済産業局 地域経済部長 熊野 哲也 氏

講演②

- 演 題** 香川大学における地域企業との産学連携の好事例、その魅力
講 師 香川大学産学連携・知的財産センター センター長・教授 永富 太一 氏

講演③

- 演 題** マイクロデバイス分野の産学連携 ～MEMS開発、人材育成を中心とした事例紹介～
講 師 東北大学マイクロシステム融合研究開発センター センター長・教授 戸津 健太郎 氏



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

かがわ糖質バイオフィォラム 第15回シンポジウムを開催

令和5年10月27日(金)、かがわ国際会議場にて第15回目となるシンポジウムを開催し、県内外から73名の参加者がありました。
かがわ糖質バイオフィォラム(平成20年設立 会長:香川大学名誉教授 田島茂行 氏)では、今後も、希少糖をはじめとする糖質バイオ分野における産学官の人的ネットワークの構築を図ってまいります。当フォーラムの目的に賛同いただける方は、ぜひご入会ください。

【第1部 特別講演】

- 演 題** ここまでできました～糖質研究から事業化に向けた取組み～
講 師 株式会社伏見製薬所 代表取締役社長 伏見 豊 氏

【第2部 事例発表】

希少糖をはじめとする糖質バイオ分野に関する商品開発事例等の発表

- ①(株)スミダ・リ・オリジン ②(一社)つなぎまいYO ③(株)ルーヴ
パネル等展示の観覧と交流



かがわ糖質バイオフィォラムHP \

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

第79回 香川の発明くふう展 表彰式及び受賞作品展示会を開催

一般社団法人香川県発明協会では、児童・生徒に創作の喜びや発明くふうする楽しさを知ってもらい、ものづくりを通じて創造力を育むとともに、科学技術の振興を図ることを目的として、「第79回香川の発明くふう展」を開催しました。

令和5年10月28日に表彰式を行うとともに、受賞作品について展示しました。

表 彰 式	令和5年10月28日(土) 13:00～14:00 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室(高松市林町2217-15)
受賞作品展示会 開催日・場所	- 令和5年10月28日(土) 10:00～15:30 香川産業頭脳化センタービル 1階 第1会議室(高松市林町2217-15) - 令和5年10月29日(日)～11月5日(日) 9:30～17:00(最終日のみ14:00まで) 大西・アオイ記念館(高松市上林町148) 入賞作品21点および奨励賞作品4点を展示しました。
主 催	香川県、(一社)香川県発明協会、 (公財)大西・アオイ記念財団

第79回(令和5年度)の主な受賞作品



香川県知事賞 「とびだしてコーン」

香川県立
高松工業高等学校 3年
中山 晴紀 さん
辻 捺希 さん



香川県教育委員会 教育長賞 「ビタッ!おはし」

東かがわ市
少年少女発明クラブ
小学4年
中塚 涼介 さん

*上記2作品を含め、入賞作品21点については、第82回全日本学生児童発明くふう展に推薦

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和6年度助成事業の募集

県内中小企業者等が新たに行う研究開発や販路開拓の取組を支援します。皆様の積極的な御応募をお待ちしております。

募集メニュー

助成メニュー	対象事業	助成率・助成上限額	採択予定件数
(1)研究開発を目的とする助成事業			
①新分野等チャレンジ支援事業	新分野進出のための商品・技術の開発、試作品作成、実証試験、可能性評価等	2/3以内 200万円	4件程度
②競争力強化研究開発支援事業 (一般枠、農商工枠)	[一般枠]付加価値の高い新製品の製品化や新技術の確立のための研究開発等 [農商工枠]香川県産の農林水産物を原材料に使用した付加価値の高い新製品・新商品の開発等	2/3以内 300万円	8件程度 (一般枠 6件程度) (農商工枠 2件程度)
③成長促進研究開発支援事業	中長期(1年超2年以内)の研究開発期間を要し、競合他社と異なる新たな価値を創造する革新的な技術や製品の研究開発等	2/3以内 500万円 ※初年度概算払上限 250万円	3件程度
(2)販路開拓を目的とする助成事業			
①国内見本市出展・ オンライン販路開拓支援事業	国内見本市・WEB見本市等への出展、 ECサイトやオンライン商談システム等の構築等を活用した販路開拓	10/10以内 30万円	20件程度
②海外見本市出展支援事業	海外見本市等への出展	10/10以内 80万円	5件程度

応募方法

財団ホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/>)又は2次元コードから申請登録を行ってください。
(インターネット環境が整わない等で申請登録ができない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。)

助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査委員会での審査を経て決定します。
研究開発を目的とする助成事業においては、審査委員会では事業説明(プレゼンテーション)を行っていただきます。

募集期間

令和5年12月8日(金)～令和6年2月15日(木)17:00(必着)

申込フォーム



新分野等チャレンジ支援事業支援事例 事業年度:令和3年度

フローラルルーチェ (高松市)

テーマ

香川県産のエディブルフラワー(食べられるお花)を使ったDOLCE(スイーツ)開発

背景・目的

フローラルルーチェは、プリザーブドフラワーの専門店として、カルチャーセンターや小学校などでプリザーブドフラワー教室を開講していたが、コロナ禍において、休業を余儀なくされた。そんな中「エディブルフラワー(食べられる花)」に出会い、可愛くて、見るだけで幸せな気持ちにさせてくれるエディブルフラワースイーツ「DOLCE」を考案し、花の素材を使った新しいスイーツの開発を行うことにした。

事業内容と成果

県産素材にこだわり、県産の花、レアシュガー、和三盆等、はちみつを使った「エディブルフラワーティー」、そして、県産の花、国産グラニュー糖、卵白を使った「エディブルフラワーロッシェ」の2種類を開発。

観賞用の花は残留農薬などで食用には使えないため、三豊市の花農家と契約を結び、生で食べられる食用花の中から乾燥加工しても見た目にかわいいピオラ、なでこ、ミニサイネリアなど季節の花々をセレクトし、お菓子などに加工している。

これらの商品は、自店舗での販売のほか、高松市のふるさと納税の返礼品への出品、ANAのクラウドファンディングを利用し、その販路の拡大に取り組んでいる。

「エディブルフラワーティー」

糖とハチミツでできているティー(飴)が飴状で溶けやすいという問題があったが、飴細工に使われる糖などを使用することにより、常温で取り扱える商品が完成した。また、製作の過程で糖粉をふんだんに使うので、あわせる茶葉にもこだわった。アールグレイティー、カモミールティー、ジャスミンティー、ダーズリンティーを使って試作を重ねたが、これらでは、甘さが強くて商品にならないため、甘さが引き立ち過ぎないように酸味の強いハイビスカスティーを採用。理想とするテイストと風味に近いものが出せ、また同時に見た目も可愛くなった。



エディブルフラワーティー

「エディブルフラワーロッシェ」

※「ロッシェ」はフランス語で「岩山」という意味。カリカリした食感の焼き菓子。

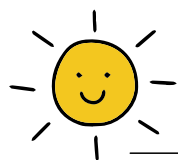
ロッシェの生地は、アールグレイ味とほろほろ茶味で試作。ロッシェの上に乗せる花は、繊維質が口の中に残らないものを選定し、アイシングを使って花を強調する工夫を加えたことで、見栄えもよくなりカリカリ感とフワッと口溶けする新しい食感を作り出すことに成功した。



エディブルフラワーロッシェ

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710



かがわ発！元気創出企業

四国で唯一アセチレンガスの製造を担うガス総合メーカー 時代の流れを見極め、幅広く誰もが活躍できる場を目指して

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、丸亀市川西町にある「四国アセチレン工業株式会社 丸亀事業所」を訪ねました。

各種可燃性ガスの中で最も高温で燃焼し、金属の溶接・溶断加工などに用いられる溶解アセチレンガスを四国で初めて製造した「四国アセチレン工業株式会社」。現在は高圧ガスの総合メーカーとして、酸素や窒素、アルゴンガス、炭酸ガス、LPガスの充填業務も担う。最盛期には四国内に3社7工場あったアセチレン工場も現在は、同社の1工場のみ。四国最後のアセチレンガス製造工場として、これまでにないような課題が持ち込まれることも増えたという。時代の波を捉え、女性や高齢の方々も共に活躍できる企業を目指し、未来志向で発展を続けている同社の取り組みについて、取締役総務部長である矢野由美子氏にお話を伺った。



高圧ガスボンベはかなりの重量がある。従来は健康な男性が運ぶものとされてきたが、女性はもちろん高齢者や非健常者でも片手で運べるように開発されたのが、電動ボンベカー「キャ楽」。取材の際、記者がお試して操作してみると手軽な操作性に驚いた

女性活躍を後押しするため 「電動ボンベカー」を開発

ヨーロッパから日本へとガス切断技術が伝わったのは明治時代後期。以来、金属切断・加工の歴史はアセチレンガスとともにあり、産業の発展に大きく寄与してきた。特に戦後の1950年頃からは生産量が拡大し、1970年頃にピークを迎えた。その後、代替ガスへの転換や加工技術の変革が進むにつれ、次第に需要は減少。それに伴い四国にも複数あったアセチレンガスを製造する企業は同社一社だけとなったという。「アセチレンガス製造だけでは市場が減少するだけですから、事業を守るためにさまざまな取り組みを行っています」と話すのは取締役であり総務部長の矢野由美子さん。まだまだ男性社会であることが多い製造業において女性活躍を牽引する役割を担っている。

男性とは体格も身体能力も違う女性が全く同じ仕事をするのは無理があることから、女性が活躍する機会を得にくい製造業の世界。「ましてや高圧ボンベの場合はかなりの重量ですから、健康な男性が運ぶのが当然だと思われてきました」と矢野さんはいう。女性であってもボンベが運べるボンベカーがあれば、高齢化社会にも有意義ではないか、そう考えた同社はかがわ産業支援財団の実施する知財マッチングを活用し大手自動車メーカーと「高圧ガスボンベキャリア」の面談を行った。



容器を再検査する容器センター。効率よく誰もが担える体制にすることで、自分のライフスタイルに合わせた勤務が可能になった。いずれは協働ロボットなどの導入もここで行う予定

高齢であっても活躍できる 「働き方改革」で人材確保

2021年6月、「高圧ガスボンベキャリア」のライセンス供与を受けた同社は、自社の技術を駆使し、独自のボンベキャリアを開発。電動ボンベカー「キャ楽」として商品化し、当財団の支援のもとで特許出願、意匠出願、商標出願を行った。

また、誰もが活躍できる企業を目指す同社は、高齢の方々の深い知見にも着目。容器センター（高圧ガス容器再検査場）において多人数による流れ作業方式を用いることで、作業効率アップにも取り組んだ。高齢になっても仕事をしやすいように作業環境や作業姿勢を改善するのはもちろん、家事や介護など、それぞれのプライベートに応じて勤務できるように勤務時間を自由裁量化。作業の3S化（単純化、標準化、専門化）することで、外国製アセチレン容器の再検査や高圧ガス容器検査における体制を改善した。「定年後に違う業種から転職された方も多くいらっしゃいます。前職の経験を活かしてさまざまな工夫をしてください、改善活動に対しても意欲的。それが既存社員の模範となっています。会社の雰囲気も和やかになりました」と矢野さんは言う。現在、容器センターのある丸亀事業所では5名の高齢の方々がライフスタイルに合わせた働き方で業務を担っている。



四国唯一のアセチレンガスメーカーとして四国はもとより瀬戸内海沿岸部のガス需要に応えている



災害時に各県の拠点までガスボンベを運びスムーズに供給ができるよう、常に充填済みのガスボンベを保管するなど、災害対策における重要な役割も担う



凍結・破碎を行い回収するドライ方式プラント。従来の方法より環境負荷が少ない方法で効率的に回収できるという

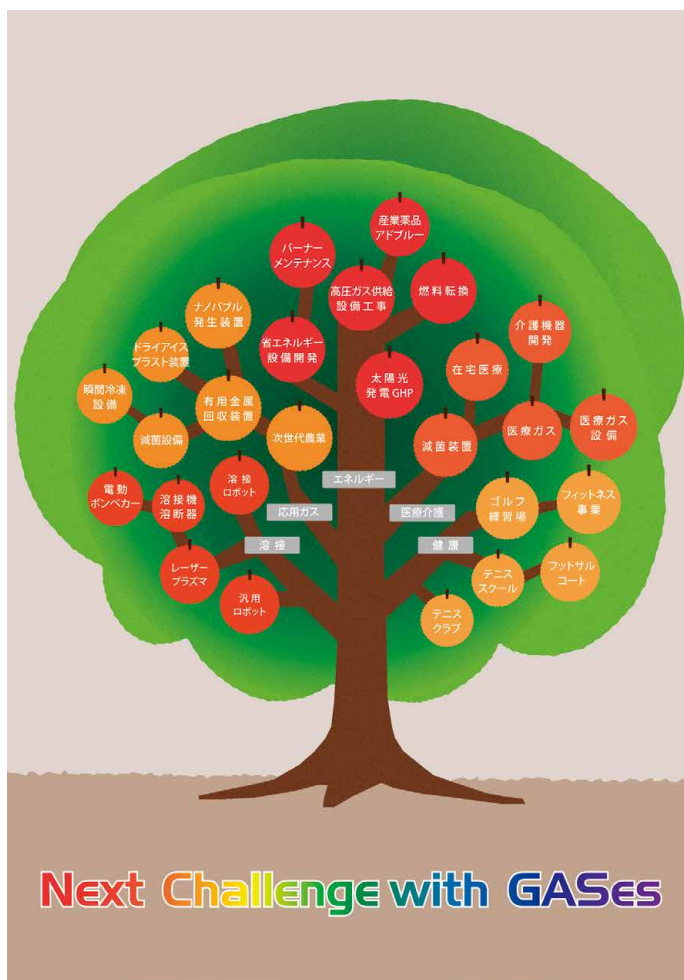


四国最後のアセチレン工場である同社。西日本地区唯一の外国製アセチレン容器再検査場及び充填工場としての役割も持つ

実用的なシステムにより 省力化、効率化を提案

溶接機材商社としての一面を持つ同社では、レアメタル、レアアース等、希少金属、希土類資源の需要拡大にも着目。世界的に遍在しているこれらの希少資源を有効活用するためには、廃棄物からの有用資源の回収が必須であると考え、銅資源回収を行う方法として、当財団の助成金を活用し、細口径廃棄電線から有用資源の銅を回収するドライ方式の実証プラントの試作に取り組んでいるという。「銅資源回収を手作業で行うのは非効率。弊社は小規模の鉄工所のお客様が多いので、溶鉱炉のように大規模排ガス処理施設が必要な巨大プラントではなく、もっとコンパクトに廃電線から銅線が取り出せるシステムがあればと実証プラントをつくったところだ」と矢野さんは話す。現在は、細口径廃棄電線の自動投入や銅資源回収など破碎工程の改善等を行いつつ、実用1号機の開発に着手。市販に向け、2024年4月の完成を目指している。

「さらなる人手不足社会、高齢化社会に向けて、協働ロボットの導入により作業の軽減、効率化を図っていくのも弊社の使命」という同社。次の時代を見据えながら、今後もガス総合メーカーを基幹として、幅広いニーズに応え続けていく。



Next Challenge with GASEs

ガス製造・充填といった従来業務を基幹としながら、グループ企業はさまざまな分野へ展開。時代のニーズを捉えた事業を幅広く行っている



四国アセチレン工業 株式会社

代表者 代表取締役 大橋 正明 氏
本 社 丸亀市富士見町2-6-11
電話番号 0877-23-8585
<https://shikoku-ace.com>



取締役総務部長 矢野 由美子 氏

令和5年度 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)第2回公募に採択

～高松帝酸株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所が共同研究(財団:事業管理)～

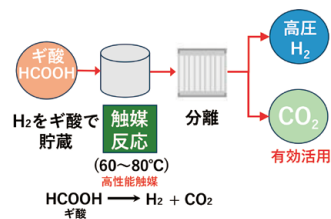
令和5年度Go-Tech事業の第2回公募は、6月6日から7月24日まで実施され、当財団から提案した1件が採択となりました。全国では75件(通常枠)の申請があった中から41件(四国からは2件)が採択されています。

研究開発テーマ 「ギ酸を水素キャリアとした革新的な高圧水素及び液化炭酸ガス連続供給技術の開発」

研究開発の概要 高松帝酸株式会社は、国立研究開発法人産業技術総合研究所の「高性能触媒技術」を用いて、触媒反応装置及びガス分離装置を開発し、消費地において小規模で安価な高圧水素及び液化炭酸ガスの安定供給を目指します。

【成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)とは】

中小企業等が持つ強みを活かし、研究機関と共同で実施する企業と社会ニーズの高い研究開発を最大3年度支援する事業です(経済産業省管轄)。補助金額は、3年度の合計で9,750万円以下です。



本研究開発で得られる水素の特徴

- ・高圧状態で取出し可能
- ・低温で取出し可能
- ・消費地で製造が可能
- ・コンパクトな装置で供給可能

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

「四国モノづくり合同商談会2023 in KOCHI」を開催

令和5年12月8日(金)、高知ちばさんセンターにて「四国モノづくり合同商談会2023 in KOCHI」を開催しました。

- 開催日時** 令和5年12月8日(金)10:00～17:00
- 開催場所** 高知ちばさんセンター 大ホール(高知県高知市布師田3992-2)
- 主催** (公財)とくしま産業振興機構、(公財)かがわ産業支援財団、(公財)えひめ産業振興財団、(公財)高知県産業振興センター
- 対象業種** 機械・金属加工、樹脂加工等
- 面談方式** 事前予約面談
- 参加企業数** 発注企業 38社(東北から九州まで) うち香川県3社
受注企業 香川県23社(全100社)

面談結果(速報値)

【香川県受注企業】

- ① 商談成立: 0件
 - ② 試作依頼: 0件
 - ③ 見積依頼: 21件
 - ④ 図面検討依頼: 4件
 - ⑤ 後日訪問: 8件
 - ⑥ 情報交換のみ: 30件
 - ⑦ その他: 1件
- 合計64件**



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川県産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

国際取引相談窓口の紹介

国際ビジネスに精通した経験豊富な専門家が、香川県内に事務所のある企業等の海外事業展開についての御相談に応じます。訪問相談はもちろん、オンライン相談も受け付けております。

【国際取引支援アドバイザーの紹介】

久保 克己 氏

MCPクオリア株式会社代表取締役

専門分野は、食料・食品の生産者・製造者・販売者への
輸出入を含むマーケティング活動



座間 安紀夫 氏

株式会社ハートクオリア代表取締役

専門分野は、産業機械、化学品関連(医薬・医療関連を含む)、
IT、IoT・AI関連、教育関連



国際取引
相談申込
フォーム

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15 香川県産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F

総務課

TEL.(087)840-0348 FAX.(087)869-3710

施設管理課

TEL.(087)869-3700 FAX.(087)869-3703

企画情報課

TEL.(087)868-9901 FAX.(087)869-3710

ファンド事業推進課

TEL.(087)868-9903 FAX.(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F

企業支援課

TEL.(087)840-0391 FAX.(087)869-3710

取引支援課・海外展開支援室

TEL.(087)868-9904 FAX.(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川1F

産学官連携推進課・研究開発支援課

TEL.(087)840-0338 FAX.(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43
RISTかがわ1F

研究管理課・研究開発課

TEL.(087)869-3440 FAX.(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F

知的財産支援課

TEL.(087)867-9332 FAX.(087)867-9365

知的財産普及課

TEL.(087)869-9004 FAX.(087)867-9365



この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、
グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。

印刷:香川印刷株式会社